

丸徳家具
店主 佐藤 徳宗さん



六年前の冬、その日、旭川は雪でマイナス十度。旭川駅に降り立った佐藤さんは、早速近くにあった靴屋のおばさんに声をかけた。
「この辺にいい家具工房はないでしょうか？」
それ以降、佐藤さんは日本各地の家具産地をアポなしで訪ねて歩いてきた。高山、広島、静岡、高松、徳島、尾道…。長く使える技術のある木工作家を捜すためだ。
旭川で知り合いになった職人

さんの紹介で、別の職人さんと知り合いになった。こうした輪が段々と広がって、今では三十人以上の作家、デザイナーと親しい交流を持つようになった。家具工房を訪ねる努力が実を結んだ。

知り合った人たちの中には小泉誠氏がいる。五十代以降の若手デザイナーでは第一人者である。小泉さんは、SAJICAブランドにも関わっておられるので、大川ではおなじみだろう。またドイツ・ケルン展示会に出品するほどの著名なデザイナー村澤一晃氏もいる。

丸徳家具の製品の約三分は実に二人の作品で占められている。ハイレベルの作品たちである。もちろんSAJICAブランドの製品もある。小泉さんは「販売は、作品の本当の良さを分かってくれる十数店舗でよい」というポリシーを持っておられるそう。丸徳家具はその限られた店舗の一つ。それにグッドデザイン賞を取った村澤さんの作品も。そして忘れていけないのが、全国各地の秀逸な技術を

持つ職人さんたちのキラリと光るような製品群だ。無垢(むく)の手作り家具で、テーブル、ソファ、デスク、イスが中心だ。佐藤さんに勧められて、小泉さんデザイナーのいすに座ってみた。

「座りごちがいいでしょう！」
「本当ですね。疲れを癒すような感覚ですね。どうしてなんでしょうかね？」

「それは、目に見えない非常に細かい点まで配慮してデザインされているからです。そしてそれを実現するための高い技術も使われています。それは、X・X・X・Xといった点です。」と佐藤さんの説明が続く。「本当にいい作品が並んでいるのだな！」と実感する。

丸徳家具の特色の一つは、遠方からの顧客が多いこと。地元から多い！

「関東、関西からもいらつしやいます。それからつい先日のごとですが、センダイからお客様がいらつしやいました。鹿児島の内川内と思つたのですが、聞いてみると東北の仙台でした。驚

デザイン、座り心地もすばらしい

小泉 誠氏
デザイン

『kuku-muku チェア』
(ナラ材)



『Uチェア』



『kuku-muku チェア』
(ウォールナット材)

きましたね(笑)。いいものを探し求めておられる方々は結構多いんですね。」
背景に充実したwebサイトがある。「妻が担当しているものを作ってくれています。」の

村澤一晃氏
デザイン



『北海道の工房の学習机』

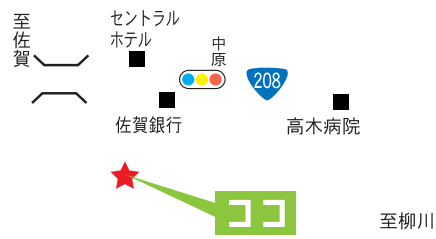


『MMテーブル』 & 『pepe チェア』

ぞいてみると、暖かな雰囲気です。佐藤さんたちの手作り家具に対する誠実な思いが伝わってくる。「お客様の声」をみると、佐藤さんたちとお客との交流や購入の喜びを伝えるものが多い。

スペースを作る予定にしています。制作過程などをディスプレイし、見る方が楽しんでもらえるようにしたいと考えています。そして地元大川についてですが、家具関連の個人的な家具ショップがたくさんでき、若い人を呼べるようなインテリアの街になっていけばと希望しています。それからSAJICAブランドについてですが、新たな変化のきっかけになればと期待しています。

もう三年ぐらい掛けて、さらにレベルアップをして行けば、売れる商品として、全国でも名を馳せていくのではないでしようか。」
洗練されたデザインと職人の技術が光る店、丸徳家具。読者の方も、一度のぞいてみられるようにお勧めしたい。



<http://www.10.ocn.ne.jp/~kigumi/index.htm>